

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ダンスⅢ											
対象	1年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	秋山 夏菜			実務 経験	有	職種	ダンス講師				
授業概要											
挨拶、時間を守る、仲間との協調性、柔軟性や対応力、表現力、思考力、発想力を身につける。											
到達目標											
ダンスを通して体を動かすことの楽しさと柔軟性の大切さを学ぶこと、仲間との協調性を身に付けること。また、オーディションでのダンス審査などにもしっかり対応できるようなダンススキルを身につけること。											
授業方法											
正しいアップ、ストレッチ、筋力トレーニング、リズムトレーニング、アイソレーション、コンビネーションを行う。ダンスは振り付けだけでなくフォーメーションなどの構成もつけ、1つの作品として造っていく。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	30% 授業内に行われる作品発表より評価 70% 通常授業の態度										
履修上の注意											
運動着、スニーカーの着用を義務付け、理由のない見学・遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席中の私語や受講態度には厳しく対応する											
教科書教材											
特になし											
回数	授業計画										
第1回	ダンス授業についてメニューを行いながらの説明、身体をうごかしてみる。簡単なアップつき。										
第2回	正しいストレッチについて。筋力トレーニングも行う。										
第3回	アップを一通り流れで行う。ダンスコンビネーション、振り入れ。										
第4回	アイソレーション（首、胸、腰3箇所）を行う。ダンスコンビネーション続き。										
第5回	リズムトレーニングの細かな動きと形を学ぶ。コンビネーション続き。										
第6回	ストレッチ、筋力トレーニング、その他アップと基礎練習を流れで行う。										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ダンスⅢ	
第7回	コンビネーション続きとグループに分かれ細かく構成をつけていく。B46:LB46:L52
第8回	コンビネーション続きとグループに分かれ細かく構成をつけていく続き。
第9回	コンビネーション続きとグループに分かれ細かく構成をつけていく。フォーメーションもつける。
第10回	全体の流れを確認し、躍り込みをする。
第11回	グループごとに分かれ構成の確認と躍り込み、イメージを話し合い衣装を決める。
第12回	グループごとに分かれ最終リハーサル。自主練習、まとめ。
第13回	グループごとに発表。フィードバック。